

史跡等保存活用計画の標準目次構成【当初】

※『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』による

第1章 計画策定の沿革・目的

- (1) 計画策定の沿革
- (2) 計画の目的
- (3) 委員会の設置・経緯
- (4) 他の計画との関係
- (5) 計画の実施

第2章 史跡の概要

- (1) 指定に至る経緯
- (2) 指定の状況

指定告示／指定説明文とその範囲／指定に至る調査成果／指定地の状況（所有関係等）

第3章 史跡等の本質的価値

- (1) 史跡等の本質的価値の明示
- (2) 新たな価値評価の視点の明示
- (3) 構成要素の特定

第4章 現状・課題

- (1) 保存（保存管理）
- (2) 活用
- (3) 整備
- (4) 運営・体制の整備

第5章 大綱・基本方針

望ましい将来像／基本方針

第6章 保存（保存管理）

- (1) 方向性

具体的な保存の手法／現状変更等の取り扱い基準／指定地外の周辺環境を構成する諸要素の保存・管理の具体的な手法／追加指定／公有化

- (2) 方法

第7章 活用

- (1) 方向性
- (2) 方法

第8章 整備

- (1) 方向性
- (2) 方法

第9章 運営・体制の整備

- (1) 方向性
- (2) 方法

第10章 施策の実施計画の策定・実施

第11章 経過観察

- (1) 方向性
- (2) 方法

史跡等保存活用計画の標準目次構成【修正後】

第1章 計画策定の沿革・目的

- (1) 計画策定の経緯
- (2) 計画の目的
- (3) 懇談会の設置・経過
- (4) 他の計画との関係

第2章 瑞浪市の概要

- (1) 地理的環境
- (2) 自然的環境
- (3) 歴史的環境
- (4) 社会的環境（瑞浪市の現況）

第3章 史跡の概要

- (1) 指定に至る経緯
- (2) 指定の状況
指定告示／指定説明文とその範囲／指定に至る調査成果／指定地の状況（所有関係等）
- (3) 各種法令による位置づけ

第4章 史跡等の本質的価値

- (1) 史跡等の本質的価値の明示
- (2) 新たな価値評価の視点の明示
- (3) 構成要素の特定

第5章 現状・課題

- (1) 保存（保存管理）
- (2) 活用
- (3) 整備
- (4) 運営・体制の整備

第6章 大綱・基本方針

望ましい将来像／基本方針

第7章 保存（保存管理）

- (1) 方向性
具体的な保存の手法／現状変更等の取り扱い基準／指定地外の周辺環境を構成する諸要素の保存・管理の具体的手法／追加指定／公有化
- (2) 方法

第8章 活用

- (1) 方向性
- (2) 方法

第9章 整備

- (1) 方向性
- (2) 方法

第10章 運営・体制の整備

- (1) 方向性
- (2) 方法

第1.1章 施策の実施計画の策定・実施

第1.2章 経過観察

(1) 方向性

(2) 方法